

令和7年4月1日

令和6年度（光陵高等学校）不祥事ゼロプログラム検証結果

項目・目標別実施結果項目	目標	実施結果と目標の達成状況
（１）法令遵守意識の向上	法令遵守を徹底し、公務員としての行動規範を確立することで、公務外非行を防止する。	初任者が講師となって、不祥事防止職員研修を行った。職員の意識を高め、法令遵守の意識の強化につなげることができた。
（２）セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、わいせつ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為、職場内におけるパワハラを未然に防止する。	研修動画の視聴、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検を実施するなど、各種ハラスメントを再確認し、人権意識の向上を図ることができた。
（３）体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導を未然に防止する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検を実施したり、研修動画を視聴したりするなど、自身の行動を振り返るとともに、組織として未然防止の雰囲気を醸成することができた。
（４）成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	点検体制を再確認し、マニュアルに基づいた業務を確実に行う。	全職員が、マニュアルに記載のある内容と点検体制の徹底を図り、事故防止に努めた。研修資料等にあるヒヤリハット事例を共有することで、事故の未然防止を図ることができた。
（５）個人情報等管理・情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いに努め、必要に応じてパスワードを設定するとともに、紛失・流失・誤廃棄の発生をゼロにする。	全職員で、これまで起こった個人情報流出に関する事故の具体例を共有し、同様の事故が起こることを未然に防止するための具体的な方策をグループ等で検討した。事故防止に向け、職員の意識が向上した。
（６）交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法令遵守を徹底し、交通事故及び酒酔い・酒気帯び運転を根絶する。	不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、WHOが開発したAUDIT（問題飲酒者のスクリーニングテスト）を使ったテストを実施し、各自で客観的な評価をすることができた。併せて交通法規の遵守と飲酒運転をしない、させないを徹底することができた。
（７）会計事務等の適正執行	会計事務等を適正に行い、事故の発生を未然に防止する。	円滑で適正な会計業務の遂行に向け、会計を担当する職員は、私費会計事務処理の手引きに記載内容の確認し、それに沿った執行を徹底した。財務事務に係る意識の向上を図ることができた。
（８）業務執行体制	諸業務の遂行において、マニュアルやルールを遵守し、情報の共有を図るとともに相互チェック体制・業務協力体制を徹底する。同僚性の醸成に向けた支援・相談体制の充実を図る。	各業務に当たって、各種マニュアルを厳守した適切な事務処理及び相互チェック及び確認の徹底を図った。 業務の内外を問わず課題や悩みを抱え込むことがないよう、管理職による面談の実施や各グループに、サブリーダーを配置し、職員を適切にサポートする取組を進めることができた。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題（校長意見）

年間を通して、職員全体で課題意識を持ちながら、不祥事ゼロプログラムの項目に取り組み、不祥事防止に対する意識が向上した。次年度も、職員同士による研修会等を通じた事例の研究、新聞記事の掲示・配付による情報提供と注意喚起、校内巡回、互いに注意喚起できる環境整備など、未然防止活動等の一層の充実を図ることにより、不祥事根絶に向けた取組を継続する。